

たくさんの方の応援をありがとうございます

ふるさと納税など

54件約610万円の寄附

昨年4月から今年2月までに、全国各地から「ふるさと納税」などによる寄附が54件あり、その総額は609万8000円でした。なお、寄附をいただいた方々は、左記のとおりです。

皆さまからいただいた寄附金は、新体育館の建設や白山平泉寺整備、恐竜・ジオパーク関連、エコ環境都市を目指す

した事業、子育て・高齢者福祉関連など、勝山市の幅広い分野で役立させていただきます。これからも、勝山市に対してふるさと納税などによる温かな応援を、よろしくお願います。

未来創造課(市役所2階)  
(☎88・1115)

(寄附受付順)

ご芳名	金額(円)	住所
株式会社 タニコーテック様	200,000	福井県
山岸 幸江 様	100,000	東京都
山内様 (姓のみ記載)	20,000	東京都
山内 陽子 様	200,000	福井県
近藤 義親 様	50,000	大阪府
山口 正孝 様	400,000	愛知県
油谷 和子 様	10,000	福井県
金森 茂治 様	100,000	群馬県
佐野 幸男 様	50,000	東京都
国村 守 様	30,000	石川県
西野 隆 様	300,000	石川県
細野 治 様	1,000,000	群馬県
高井 征夫 様	50,000	奈良県
勝山市体育協会様	100,000	福井県
宇野 文男 様	50,000	福井県

※県の共同窓口を通じた寄附を含みます  
※お名前前の公表を承諾された方のみ掲載しています



1月下旬の大雪により、市街地の積雪深が110cmを超えたため、1月27日、市は昨年引き続き雪害対策室を設置しました。

その後、市街地の積雪深が85cmとなり、また今後の雪害の心配もなくなったとして、2月24日に同対策室を廃止しました。

同対策室では、道路除排雪体制の強化に加え、日頃から管理されていない不在家屋や市街地の雪下ろし状況調査、第3者に危害をおよぼす恐れがある不在家屋の雪下ろし、流雪溝の雪詰まり対応など、市民生活の安全確保に努めました。

地域の学生や児童による除雪ボランティアは、高齢者の家の玄関から道路までの通路(避難路)確保などを行いました。

今冬から、「地域支えあい体制づくり事業」により除雪機を購入した地区では、自主防災組織が中心となって、自力での除雪が困難な高齢者世帯や障害者世帯の家の周辺などの除雪に取り組みました。

家屋等被害  
半壊 1棟  
一部破損 8棟  
農業関係被害  
施設(ハウス)被害 1棟  
※公共施設関係の被害なし  
総務課(市役所2階)  
(☎88・1116)



**市役所・出先機関の業務時間が変わります**

4月2日(月)から市役所本庁および出先機関の業務時間が、次のとおり変更します。

**【市役所・出先機関の業務時間】**  
午前8時30分～午後5時30分  
↓4月から  
午前8時30分～午後5時15分

※市民課および税務課の窓口業務について、4月27日(金)まではこれまでどおり午後5時30分まで行います

総務課(市役所2階)  
(☎88・1113)

年金

“学生納付特例申請”を忘れていませんか?

学生納付特例制度とは

国内に居住する20歳から60歳までのすべての方は、国民年金に加入して、保険料を納付する義務があります。

学生納付特例制度は、所得のない学生が申請することにより、保険料の納付が猶予される制度です。

◆平成23年度の申請書提出期限

平成23年4月から平成24年3月分までの保険料の納付が猶予される申請書の提出期限は、**5月1日(火)**です。

◆申請に必要なもの

被保険者の認印、在学証明書もしくは学生証(有効期限の記載があるもの)、年金手帳(お持ちの方)

◆提出先

市民課または福井年金事務所

◆平成24年度からの申請について

平成23年度の納付が猶予されている学生で、引き続き平成24年度も在学予定の方には、日本年金機構から猶予更新の申請ハガキが郵送されます。必要事項をご記入の上、投函してください。

新たに申請を希望する学生は、市民課で手続きしてください。

3月中に20歳になる方へ

日本年金機構から通知が届きましたら、早めの手続きをお願いします。

市民課(市役所1階) (☎88-8102)  
福井年金事務所 国民年金課  
(☎0776-23-4516)

**エコ協通信**

**第25回鹿谷町雪まつり**

2月12日に鹿谷町雪まつりを開催し、鹿谷公民館では特産品の販売、鹿谷小グラウンドでは、雪像コンテストを行いました。

今年の大会は25周年記念ということで、実行委員会では、昨年の雪まつり終了直後からいろいろ企画を練ってきました。雪像コンテストのテーマを「この25年間の出来事」とし、参加チームには担当する年を割り振りました。平成15年のえちぜん鉄道開業を題材にした勝山駅と電車や、恐竜エキス



寅さんよ永遠に!

雪まつりは、代々「絆」をテーマに、町民の熱い想いで皆が力を合わせ続けてきたからこそ、25周年を迎えることができました。

会場までの道沿いに雪だるまを作ってくださいました町民の方々、参加

未来創造課(市役所2階)  
(☎88・1115)



ドンド焼き

者が雪像を短時間で作るために、苦労を惜しまずに雪の塊を作った地元の業者の方々、特産物の販売などにご協力くださった方々、本当にありがとうございました。

この雪まつりは、町民一人ひとりの絆で成り立っています。祭りを企画する方、その企画をカタチにする方、それに引き寄せられて会場に足を運ぶ方。どの方にも共通して言えることは、皆さんが満面の笑みで雪まつりの楽しい時を過ごされていた姿です。最高にビューティフルでした。

今年の雪まつりが終わったばかりですが、もうすでに次回の企画が進んでいます。

これからも末長く、よろしくお願います。

(鹿谷町まちづくり協議会  
山内 文寛)